

ネット調査 スコープ 3 について

スコープ 3 は、企業の温室効果ガス (GHG) 排出量を評価する際に使用される概念の一つで、サプライチェーン全体にわたる間接的な排出を含むものです。GHG プロトコルに基づき、温室効果ガス排出はスコープ 1、スコープ 2、スコープ 3 に分類されます。

1. **スコープ 1:** 企業が直接所有または管理する資産からの直接排出。例えば、製造設備や車両の燃料燃焼による排出が該当します。
2. **スコープ 2:** 企業が消費する購入電力、熱、蒸気などの間接排出。これは、他の企業から購入するエネルギーの生成に伴う排出です。
3. **スコープ 3:** 企業のバリューチェーン全体 (上流および下流) にわたるその他の間接排出。これには、サプライヤーからの原材料の調達、製品の使用、廃棄、輸送、出張、従業員の通勤などが含まれます。

スコープ 3 はさらに、15 のカテゴリに分けられています。主なカテゴリは以下の通りです:

- 購入した製品やサービス
- 資産の使用 (リースを含む)
- 廃棄物管理
- 輸送および配送 (上流および下流)
- 従業員の出張および通勤
- 投資関連の排出

スコープ 3 の排出量は、企業のバリューチェーン全体にわたる広範な領域をカバーするため、特定と計算が難しい場合が多いです。しかし、これらの排出量を管理することは、企業が持続可能なビジネス運営を達成し、環境負荷を低減するために重要です。

スコープ 3 の 15 のカテゴリ

スコープ 3 の温室効果ガス (GHG) 排出量は、GHG プロトコルで定められた 15 のカテゴリに分かれています。以下に、それぞれのカテゴリについて詳しく説明します:

上流の活動 (企業のバリューチェーンの開始部分)

1. **購入した製品やサービス**:企業が購入するすべての製品やサービスの製造に伴う排出。
2. **資本財**:建物、機械、設備などの長期使用される資本財の製造に伴う排出。
3. **燃料およびエネルギー関連の活動(スコープ 1 およびスコープ 2 に含まれない)**:燃料の抽出、生成、輸送などに伴う排出。
4. **上流の輸送および配送**:供給された製品や原材料の輸送および配送に伴う排出。
5. **廃棄物からの排出**:企業の活動によって生じる廃棄物の処理および処分に伴う排出。
6. **従業員の出張**:従業員の出張に伴う排出。
7. **リース資産(上流)**:企業がリースする資産の使用に伴う排出。

下流の活動(企業のバリューチェーンの終了部分)

8. **下流の輸送および配送**:製品の配送および輸送に伴う排出。
9. **販売された製品の加工**:顧客が購入した製品をさらに加工する場合の排出。
10. **販売された製品の使用**:顧客が製品を使用する際の排出。例えば、自動車の運転や電子機器の使用など。
11. **販売された製品の廃棄**:製品の使用終了後の廃棄処理に伴う排出。
12. **リース資産(下流)**:企業がリースする資産の使用に伴う排出。
13. **フランチャイズ**:企業がフランチャイズ運営する場合の排出。
14. **投資**:企業の投資活動に伴う排出。例えば、企業が持つ他社の株式や債券などの投資先からの排出。

その他

15. **従業員の通勤**:従業員が通勤する際の排出。

これらのカテゴリに分けることで、企業は GHG 排出量をより詳細かつ包括的に把握し、管理することができます。特にサプライチェーン全体にわたる排出量の把握と削減が求められており、企業の環境負荷低減に向けた取り組みが重要とされています。